



隊友ロゴマーク

支部だより 8月号

第160号 2018. 8. 1

香川県隊友会丸亀支部

〒763-0071 柞原町 759-8 Tel 0877-22-9869

支部長 鳥生幹雄 090-5042-1481



ヒマワリや ギンギラギンと
さりげなく(写真:中山会員)

7月の活動報告

1. 地域ボランティアへの参加

15日 10:00~11:00の間、丸亀護国神社の招魂祭を支援しました。開始に先立ち、09:00から神社境内の清掃を実施。ご参列のご遺族は5名。宮田治彦禰宜様祭司のもと、世話役として宮本崇代様、支部からは、赤松、妻鳥、香川、高島、小松、武田、大西、鳥生(支部長)の会員8名、奉賛会からは、吉川会長、草薙様(善通寺)のご奉仕を頂きました。

2. 支部会議等

・支部だより7月号配布

7日(土) 09:00~10:30の間、香川県護国神社参集殿において鳥生支部長以下8名が配分作業を実施。

・支部懇談会

14日(土) 10:00~14:00の間、丸亀市生涯学習センター3階会議室において懇談会を開催。鳥生支部長以下会員14名が参加、各々多種多様な話があり、会員相互の交流を深めることができた。

3. 県行事等

・第2回理事役等会議

7月28日(土) 15:00から高松合同庁舎2階会議室において実施、大西前支部長が参加。

・防災資材点検(台風12号接近中)

29日(日) 10:00~11:00の間、丸亀市水防センターにおいて県隊友会管理の防災資材の点検及び同センター屋内の環境整備(清掃等)を実施した。

直江県事務局長、大西前支部長、荒谷会員の3名が実施。

点検後は、防災資材の活用や、管理保管の在り方や、地域密着型組織への改革等について意見交換を実施。



8月以降の予定

1. 地域ボランティアへのお誘い

丸亀護国神社にて、毎月15日 10:00から月例招魂祭が行われます。8月15日は、終戦の日追悼です。会員のご参加、ご協力、宜しくお願いします。清掃奉仕・準備は、09:00から実施。

2. 支部等会議

・支部だより8月号配布

日時: 8月4日(土) 09:00~10:30

場所: 善通寺市護国神社参集殿

3. 支部囲碁大会について

支部囲碁大会が7月中に計画されていましたが、諸事情により、11月開催に延期となりました。また時期が近づきましたら別途連絡させていただきます。

4. 県行事等

・防災資材点検(9月)について

9月の防災資材点検に合わせ、水防センター敷地内の草刈りや樹木の剪定等を実施予定です。会員皆様方の積極的な御協力をよろしくお願いたします。

災害派遣部隊出迎え・見送り(西日本豪雨災害)



隊友会丸亀支部会員有志は7月11日(水)午後13時頃から善通寺駐屯地において西日本豪雨災害派遣部隊(第15即応機動連隊)の出迎えを実施しました。

引き続き14時30分頃に災害派遣部隊(北部方面隊)の出発を駐屯地所在隊員とともに見送った。



災害派遣部隊は、北部方面隊の4個部隊で人員239名、車両約100両、支援内容は、給水・入浴支援であり、参加会員は、直江県事務局長、丸亀支部からは、大西、高島、才谷、武田会

員の4名が参加。

なお現在、第14旅団は愛媛県大洲市、西予市、宇和島市等において災害派遣活動(入浴支援)を継続中である。

(7月17日現在)

7月招魂祭の実施風景(7月15日)



33度を超える猛暑の中、10時から招魂祭は催行されました。尊い命を捧げられた先人の御霊に手を合わせ、日本の平和、郷土の繁栄を祈りました。

【上の写真は、招魂祭に先立ち境内の環境整備を行う参加会員】

境内を掃き清め、心を清浄して先人の御霊にお祈りを捧げました。

【下の写真は、詳細時間を活用して参加会員各々情報交換等実施。

大西前支部長からの説明を聞く会員】

会員のひろば (近況紹介)

記事投稿は、支部長又は荒谷直政(メール stngxyf8323@mc.pikara.ne.jp)までお願いします。

隊友会新規入会挨拶 (自己紹介)

松村朝生 会員 飯山町



H 30 年 3 月、中部方面総監部総務課長を最後に陸上自衛隊を定年退職し、4 月から香川県危機管理総局危機管理課にて防災指導監として勤務しています松村と申します。

出身は丸亀市で、H 14 年 8 月から善通寺駐屯地で第 15 普通科連隊第 3 科長として 2 年半勤務しましたが、その時、本島山林火災、旧大野原町での土砂災害、高松市の高潮被害があり災害派遣活動に従事しました。また H 23 年 3 月 11 日に起きた東日本大震災では、山形県にて第 6 師団司令部監察官として勤務していましたが、宮城県庁、石巻市役所、福島県庁にて、県・市との現地での部隊運用の調整を実施しました。そしてこの 3 月、自衛隊を退職し、再就職にあたり、生まれ育った地元香川に恩返しできる職はないものかと総監部援護課をお願いしていましたところ、タイミング良く県の防災指導監のお話をいただきました。香川県で勤務でき、しかも 37 年間の自衛官生活で得た経験がお役に立てるということで非常にやりがいを与えていただき、心から感謝しております。

折角の機会をいただきましたので、私が防災指導監として取り組みたいこと、について述べたいと思います。

第 1 点は、自衛隊での経験を活かして、県としてリアリティある防災訓練、特に指揮所訓練を計画したいと考えています。実際に起きうる事象を具体的にイメージアップして、そのために日頃から県職員として物心両面において何を準備しておけば良いか。そういう視点で、訓練を計画したいと思います。そして、訓練終了後、訓練に参加した職員一人一人が、「今回の訓練に参加して、ためになった、得る物があった」と自覚できるような訓練を企画したいと思います。

第 2 点は、県民の皆さんに防災意識を少しでも向上していただきたいと思っています。

年間 40 回ほど防災講話を予定していますが、この防災講話を通じて、特に自助、共助の重要性を、分かり易く具体的にお話しして、日頃からの心構えと物の準備をしていただきたいと思います。南海トラフ地震では香川県は高知県、徳島県に比べ被害は少ないイメージがありますが、それでも最悪のケースでは最大 6200 名の死者が発生すると言われていています。悪戯に危機感を煽るのではなく、琴線に触れる防災講話を通じて、万一の時、一人でも多くの尊い命が救えるよう微力ながら努力したいと思います。

最後になりましたが、今後とも隊友会の皆様からの温かい御指導、御鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

交流を深めた「支部懇談会」



7 月 14 日 (土) 10:00 丸亀市生涯学習センターに 14 名の会員が集まり、会員の相互交流を図ることを目的に今年度の「支部懇談会」が始まった。

司会進行は、大西前支部長が担任。「丸亀支部は、丸亀招魂祭の支援など、会員の交流機会はあっても、限定的。新会員とか若い会員に参加してもらえたい」と発言。続いて今西会員が、市の行事でドイツを訪問した体験を発表。「肉とじゃがいもでドイツの女性はスタイルが良かった」と紹介。続いて小松会員が「土器川河川敷のグラウンドを管理している。大雨による土砂流入や草刈りが大変」と体育協会での活動を紹介。次いで福岡会員が「退官後、8 反の田んぼでコメを作っている。



農機具の購入など必要経費を考えると米の収入は割に合わないが、モノづくりは感動と道楽の生活だ」と発言。次いで香川会員が「加齢による聴覚と視覚の減少を紹介。白内障の手術

で物が綺麗に見えだした」と話された。次いで直江会員が、県隊友会事務局長の立場で「西日本豪雨災害で北海道から給水・入浴の災害派遣部隊が愛媛県で活動していることを紹介し、県隊友会の会員確保に協力してほしい」と発言。中山会員は「会員相互の交流のため、カラオケの機会を作り、老人施設等への訪問も検討したら」と提言。ここで、弁当休憩。この間に鳥生支部長が「西日本豪雨は、山や川の近くで災害の素因があるところで発生している。ハザードマップにより自宅で発生する災害を知ること。テレビの d ボタンで情報を収集すること」を紹介。才谷会員は、「坂出緑化で植木セミナーの講師をしている。参加してほしい」と紹介。武田会員は「趣味で『鶯草』と『風蘭』を栽培している。希望者には株分けします」と紹介。最年長の赤松会員は「90 歳になった。長生きは尺八のおかげと『千の風になって』を演奏。柴田会員は「親を介護施設に入れる苦労」を紹介。大塚会員は「NHK 放送大学で学んでいる。寮監をしている」と紹介。高島事務局長は「防災士になろうとする会員を紹介してほしい。支部だよりは、しっかり読んでください」と発言。参加者全てが話を終えた。まとめとして、会員交流の場を多くするために支部懇談会を分会ごとに開催することや、回数を増やすこと。カラオケの開催要領を善通寺支部に確認することとして、14:00 に解散。4 時間があつと言う間の楽しいひと時だった。(文責:鳥生支部長)